（様式２）

学力向上のための基盤づくりに関する調査研究
平成３１年度 研究実施計画書

応募団体名称	

１．研究テーマ、研究課題（公募要領６．及び別紙１を参照）

（１）研究テーマ　（当てはまる研究テーマの □ にチェック）

□　テーマ１：学習を支える環境の整備

□　テーマ２：児童生徒の発達の段階に即した取組

□　テーマ３：効果的な補充学習・家庭学習の実施

（２）具体的な研究課題

２．研究の取組内容と効果検証（公募要領６．を参照）

（１）１（２）で記載した研究課題に基づいて実施する調査・取組内容（できるだけ具体的に）

（２）効果検証のための指標について

No.	検証のための指標	実施主体	具体的な検証内容
1			
2			
3			
4			
5			

※適宜行を追加してください。

（３）指標に関するデータの取得方法（時期、回数等）

※（１）で記載した手法ごとに記載

	検証のための指標	データ取得の時期、回数等
1		
2		
3		
4		
5		

※適宜行を追加してください。

（４）検証の際に比較の対象とする学校等

取組実施校	比較対象校	比較対象とする理由
計　　校	計　　校	

※適宜行を追加してください。

３．研究の実施スケジュール（公募要領７．及び１３．を参照）

（１）１年目（2019 年度）

（２）２年目（2020 年度）

４．研究の実施体制、役割分担（公募要領７．を参照）

※　「学力向上推進協議会」についても記載すること。

※　図や表を用いて記載しても構わない。

５．その他特記事項（研究を実施する上で特段の考慮事項等があれば記載）

記入例

（様式２）

学力向上のための基盤づくりに関する調査研究
平成３１年度 研究実施計画書

応募団体名称	○○市教育委員会

１．研究テーマ、研究課題（公募要領６．及び別紙１を参照）

（１）研究テーマ　（当てはまる研究テーマの □ にチェック）

□　テーマ１：学習を支える環境の整備
□　テーマ２：児童生徒の発達の段階に即した取組
□　テーマ３：効果的な補充学習・家庭学習の実施

複数の研究テーマを選択することはできない。

（２）具体的な研究課題

研究テーマに沿った実践研究校における具体的な研究課題について記載すること。
複数の研究テーマにまたがる研究課題を設定することはできない。

２．研究の取組内容と効果検証（公募要領６．を参照）

（１）１（２）で記載した研究課題に基づいて実施する調査・取組内容（できるだけ具体的に）

海外の○○に関する先行研究や取組について調査した上で、○○する。

１（２）の研究課題を踏まえて具体的に何を調査し、その上でどのような取組を実施するかを簡潔に記載すること。なお、効果検証の詳細については（２）以降に記載すること

公募要領６（３）を参考に、検証の際に用いる指標を記載すること。

実施主体を記載すること。

当該指標を用いて何を検証するのか、具体的内記載すること

（２）効果検証のための指標について

No.	検証のための指標	実施主体	具体的な検証内容
1	△△株式会社の学力検査の正答率	△△株式会社	資質・能力のうち特に「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等」の状況を検証する。
2	保護者へのアンケート調査の結果	○○市教育委員会	資質･能力のうち特に｢学びに向かう力、人間性等」の状況を検証する。
3	児童への聞き取り調査の内容	○○市教育委員会	資質･能力のうち特に｢学びに向かう力、人間性等」の状況を検証する。
4			
5			

※適宜行を追加してください。

（３）指標に関するデータの取得方法（時期、回数等）

※（１）で記載した手法ごとに記載

	検証のための指標	データ取得の時期、回数等
1	△△株式会社の学力検査の正答率	2020 年５月及び 2021 年５月の２回、取組実施校及び比較対象校の児童に対して学力検査を実施する。
2	保護者へのアンケート調査の結果	2019 年９月、2020 年３月及び 2020 年７月の３回、取組実施校及び比較対象校の児童の保護者に対してアンケートを実施する。
3	児童への聞き取り調査の内容	2020 年１月に１回、取組実施校及び比較対象校の児童に聞き取り調査を実施する。
4		
5		

※適宜行を追加してください。

データを取得するために実施する調査の実施時期、実施回数や実施方法等について具体的に記載すること。

複数設定する場合は全ての学校を記載

（４）検証の際に比較の対象とする学校等

取組実施校	比較対象校	比較対象とする理由
○○市立Ａ学校 ○○市立Ｂ学校	○○市立Ｃ学校 ○○市立Ｄ学校 ※Ｄ学校は打診中	同一市内にあり学校規模や学力の状況が類似しているため
計　２　校	計　２　校	

※適宜行を追加してください。

比較対象校に関する情報は、計画書提出時点で記載可能な範囲で構わない。

３．研究の実施スケジュール（公募要領７．及び１３．を参照）

（１）１年目（2019 年度）

2019 年４月　学力向上推進協議会設置
2019 年５月　学力向上推進協議会（第１回）開催
△△株式会社の学力検査（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
文部科学省における連絡協議会
2019 年７月　取組実施校の保護者への説明（Ａ学校、Ｂ学校）
学力向上推進協議会（第２回）開催
2019 年９月　Ａ学校及びＢ学校において取組開始
保護者へのアンケート調査（第１回）（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
学力向上推進協議会（第３回）開催
2019 年 12 月　学力向上推進協議会（第４回）開催
2020 年１月　児童への聞き取り調査（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
2020 年３月　保護者へのアンケート調査（第２回）（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
学力向上推進協議会（第５回）開催

※学力向上推進協議会とは別に、適宜有識者に指導助言を受ける予定。

研究１年目となる 2019 年度の実施スケジュールについて可能な限り具体的に記載すること。

（２）２年目（2020 年度）

2020 年４月　学力向上推進協議会（第６回）開催
2020 年５月　△△株式会社の学力検査（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
2020 年７月　保護者へのアンケート調査（第１回）（Ａ学校、Ｂ学校、Ｃ学校、Ｄ学校）
　　学力向上推進協議会（第７回）開催
2020 年９月　学力向上推進協議会（第８回）開催
　　取組の効果検証を本格的に開始
2020 年 11 月　学力向上推進協議会（第９回）開催
2020 年１月　学力向上推進協議会（第１０回）開催
2020 年３月　文部科学省に報告書提出
※学力向上推進協議会とは別に、適宜有識者に指導助言を受ける予定。

研究１年目を踏まえ、２年目となる 2020 年度の実施スケジュールについて可能な限り具体的に記載すること。

４．研究の実施体制、役割分担（公募要領７．を参照）
※　「学力向上推進協議会」についても記載すること。
※　図や表を用いて記載しても構わない。

学力向上推進協議会
（●●県教委職員、●●大学教員、
株式会社▲▲研究所社員等により構成予定）
↓指導・助言、支援
〇〇市教育委員会

Ａ学校　Ｂ学校　Ｃ学校　Ｄ学校
取組実施　比較対象

研究を行う上での実施体制及び各々の役割分担を記載すること・なお、関係者で構成される「学力向上推進協議会」の位置付けやその具体的な役割も含めた記載とすること。

５．その他特記事項（研究を実施する上で特段の考慮事項等があれば記載）
平成 29～30 年度〇〇事業を受託

その他、研究実施計画書の各項目に記載しなかったが特記すべき事項があれば記載すること。